

適応策の検討状況について



©岡山県「うらっち」「ももっち」

平成31年1月31日

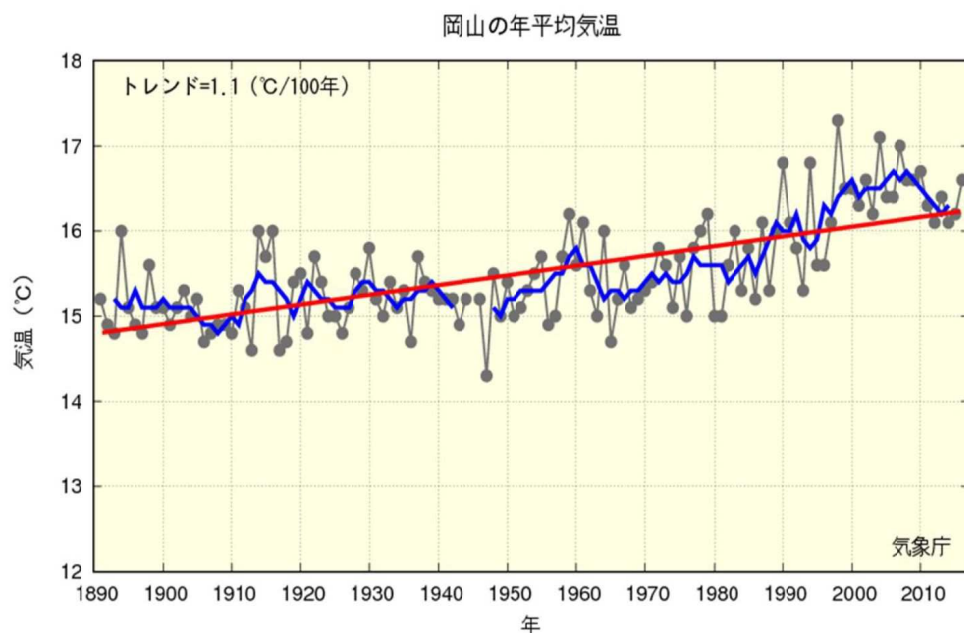
岡山県環境文化部環境企画課 新エネルギー・温暖化対策室



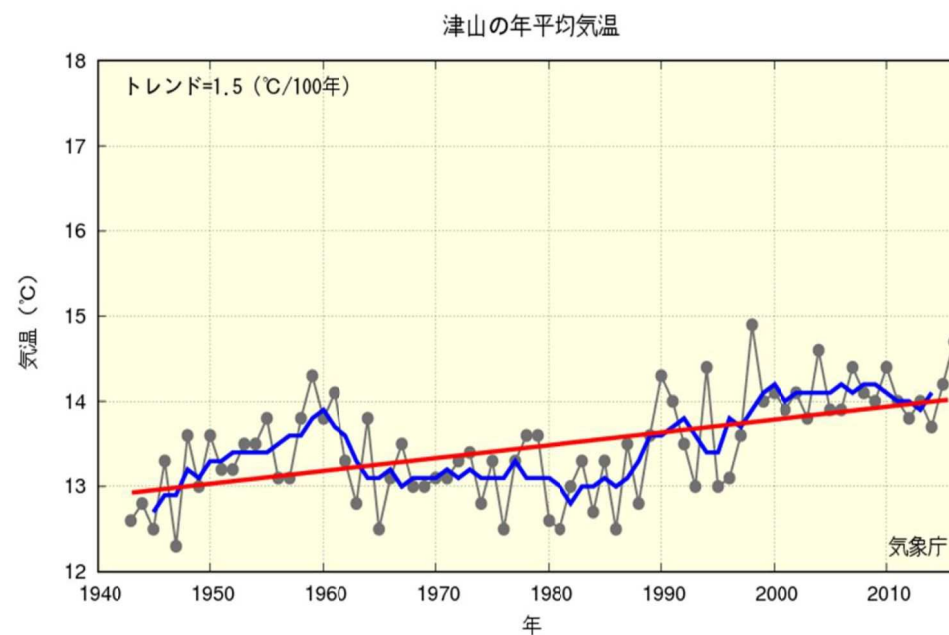
1 岡山県の現状①

岡山市 → 100年当たりの平均気温は、約1.1°C上昇

津山市 → 100年当たりの平均気温は、約1.5°C上昇



岡山地方気象台における平均気温の推移



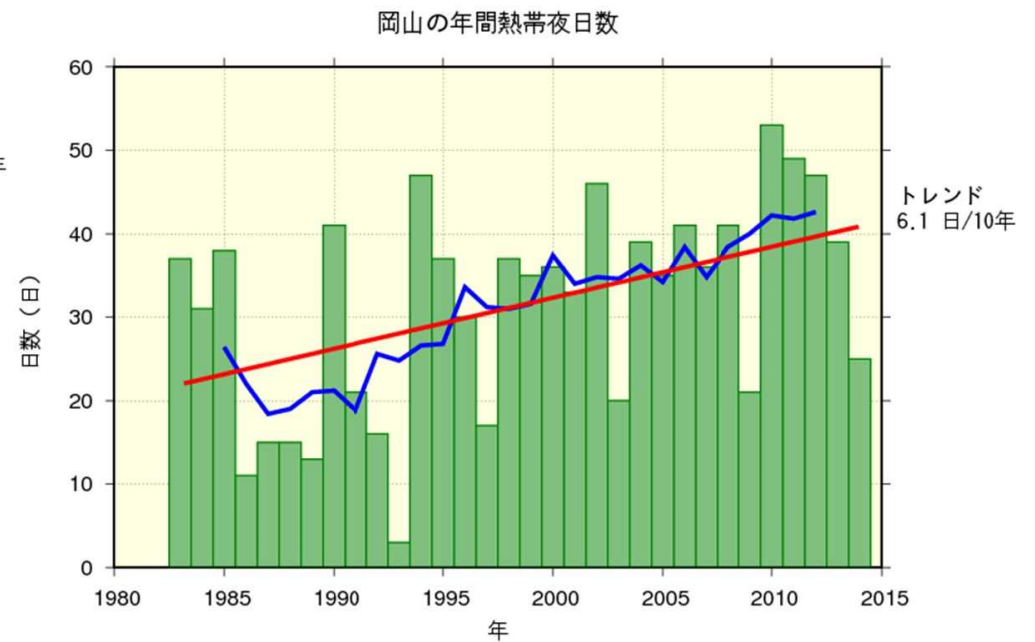
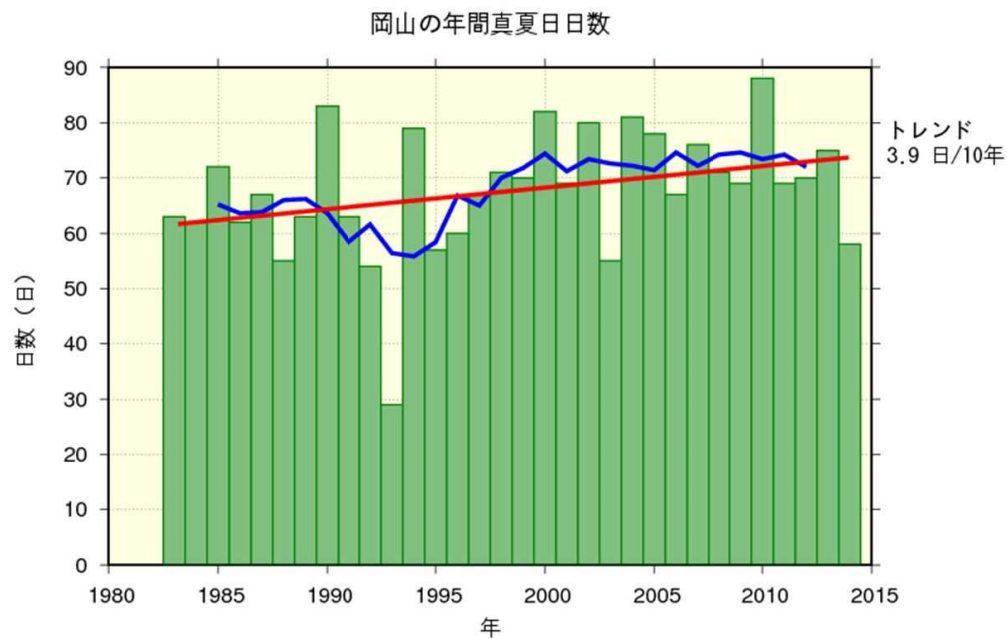
津山特別地域気象観測所における平均気温の推移

資料提供：岡山地方気象台

1 岡山県の現状②



真夏日 (最高気温が 30°C 以上の日) → 10年当たり、**3.9日増加**
熱帯夜 (最低気温が 25°C 以上の日) → 10年当たり、**6.1日増加**



資料提供：岡山地方気象台

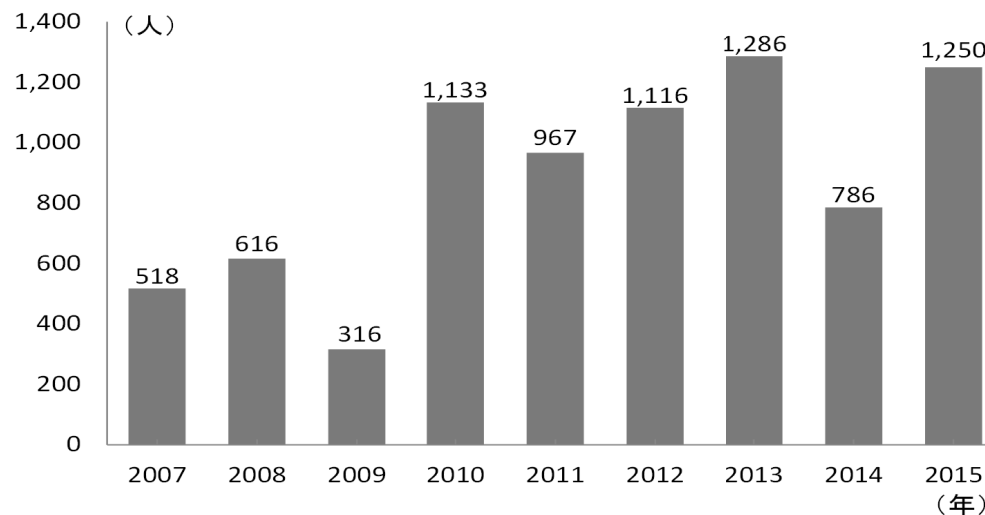
1 岡山県の現状③



岡山県の夏期熱中症による救急搬送状況

○2010年8月には、岡山市で猛暑日（1日の最高気温が35℃以上の日）が12日間続き、当月の平均気温が30.5℃と1891年に岡山地方気象台が観測を開始して以来、最高値を記録し、本県の夏期の熱中症による救急搬送人員は、1,000人を超えた。

○その後も、熱中症による救急搬送人員が1,000人を超える年が多く出現。



※ 集計期間は2007～2010年は7月～9月、2011年～2014年は6月～9月、2015年は5月～9月
出典：総務省消防庁「熱中症による救急搬送状況」

1 岡山県の現状④

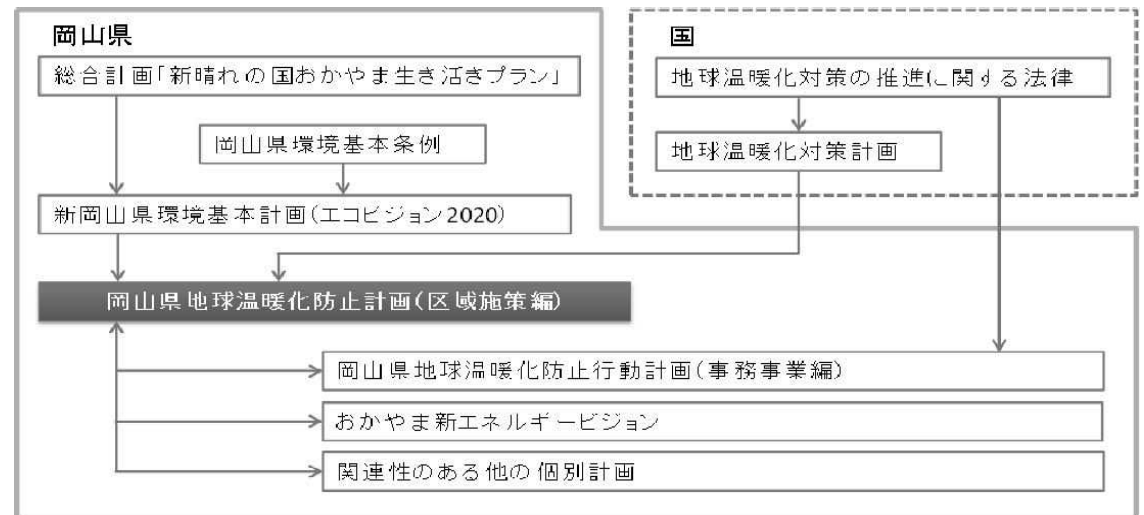


県内の農畜産物、漁業への影響予測

高温による米の品質低下や、養殖ノリの芽落ち被害など、地球温暖化による影響と見られる現象が発生

農産物	<ul style="list-style-type: none">・ 水稻の登熟不良・ トマトの裂果の増加と着果率の低下による収量減・ ももの開花期の前進化による霜害・ ぶどうの生育障害・ 病虫害の北上・新たな発生 など
畜産物	<ul style="list-style-type: none">・ 肉用鶏・肥育豚の産肉量の減少・ 乳牛の乳量低下や乳質低下 など
水産物	<ul style="list-style-type: none">・ ナルトビエイなど温帯性魚類の増加による漁業被害・ ノリの芽落ち被害、ノリ養殖期間の短縮・ 漁場の移動・縮小・ 藻場の衰退 など

2 岡山県地球温暖化防止行動計画（区域施策編）



(1)計画期間 平成23(2011)年度～平成42(2030)年度

※平成29年(2017)3月改定

※中間見直し 2022年度(予定)

(2)削減目標 2030年度に2013年度比 17.7%削減

(2020年度に3.6%削減)

2 岡山県地球温暖化防止行動計画（区域施策編）



第1章 計画策定の考え方と方向性

第2章 計画策定の背景

第3章 計画の基本的事項

第4章 温室効果ガス排出量等の現況

第5章 温室効果ガス排出量の削減目標

第6章 各主体の具体的な地球温暖化防止活動

第7章 気候変動の影響への適応

（1）「適応」の必要性（2）適応の進め方

第8章 推進体制・進捗管理

3 適応の進め方

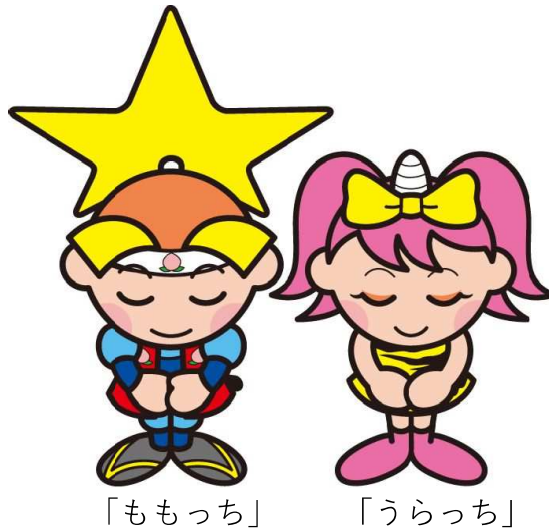
(1) 適応推進の流れ

- 現在の気候変動の状況とその影響の整理
- 将来の気候変動の状況とその影響予測の整理
- 既存施策における気候変動影響への対応等の整理
- 気候変動影響の評価
- 適応策のとりまとめ
- 県民等との情報共有

(2) 適応の推進体制

既存の庁内連携組織等を活用し、適応について情報共有を図り、検討を行う体制を整える。

ご清聴ありがとうございました



岡山県 
新エネルギー・温暖化対策室